

第12単元 単位量あたりの大きさ(速さ)①

問題番号	配点	解 答(許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	20 (各5)	① 1 ② 1 ③ 8 ④ 15	[知技]時速、分速、秒速と時間、道のりの関係について理解している。	時速などの意味をおさえるだけでなく、具体的な事象(歩く速さなど)を示して理解させる。
②	20 (各10)	式 $1200 \div 5 = 240$ $2080 \div 8 = 260$ 答 8分間に2080m走る 自動車のほうが速い。	[知技]単位量あたりの大きさの考えを用いて、速さを比較したり、公式を使って速さや道のり、時間を求めたりすることができる。	道のりを単位量としても比べられるが、時間を単位量として進む道のりで表すと、速さの比較がしやすいことに気づかせる。
③	20 (各5)	式 $180 \div 45 = 4$ 答 秒速4m ----- 式 $1200 \div 15 = 80$ 答 分速80m		速さの意味の理解を基に、速さの定義を確かめさせたり、数直線を図示したりして、道のりと時間と速さの関係を振り返らせる。
④	20 (各5)	式 $40 \times 5 = 200$ 答 200km ----- 式 $270 \times 60 = 16200$ 答 16200m(16.2km)		
⑤	20 (各5)	式 $45 \div 30 = 1.5$ 答 1.5時間(1時間30分) ----- 式 $180 \div 1.2 = 150$ 答 150分(2時間30分)		

第12単元 単位量あたりの大きさ(速さ)②

問題番号	解 答(許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	①~④ ①イ ②エ ③キ ④コ (完答) ----- ⑤~⑧ ⑤ウ ⑥ア ⑦ク (カ) ⑧コ (完答)	[思判表]単位量あたりの大きさに着目して、比べ方を式で説明している。	単位量あたりの考えを用いて、時間か距離のどちらかを1にそろえていることを確認する。また、時間を単位量として考えると、速さの公式が導けることもおさえる。

▶思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	2問	1問	0問

▶主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。